

## DB年金の平成21年度(H22.3末) 決算の積立状況等

対照先	DB年金	厚生基金	適格年金	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

※ご参考に厚生基金のお客様にも送付させていただきます。

### ポイント

弊社総幹事先DB年金のうち、平成22年3月末に決算を迎えた260件について、積立水準等の集計を行いましたのでご案内致します。

1. 継続基準の積立水準※<sup>1</sup>平均1.21へ上昇(前年度平均1.02) 96%(前年度37%)のDB年金が継続基準を満たしました。

※<sup>1</sup> (数理上資産額+許容繰越不足金)÷責任準備金

2. 非継続基準の積立水準※<sup>2</sup>平均1.26へ上昇(前年度平均1.05) 73%(前年度60%)のDB年金が非継続基準を満たしました。

※<sup>2</sup> 純資産額÷最低積立基準額 (未認識額を除く)

### 【当年度集計の概要】

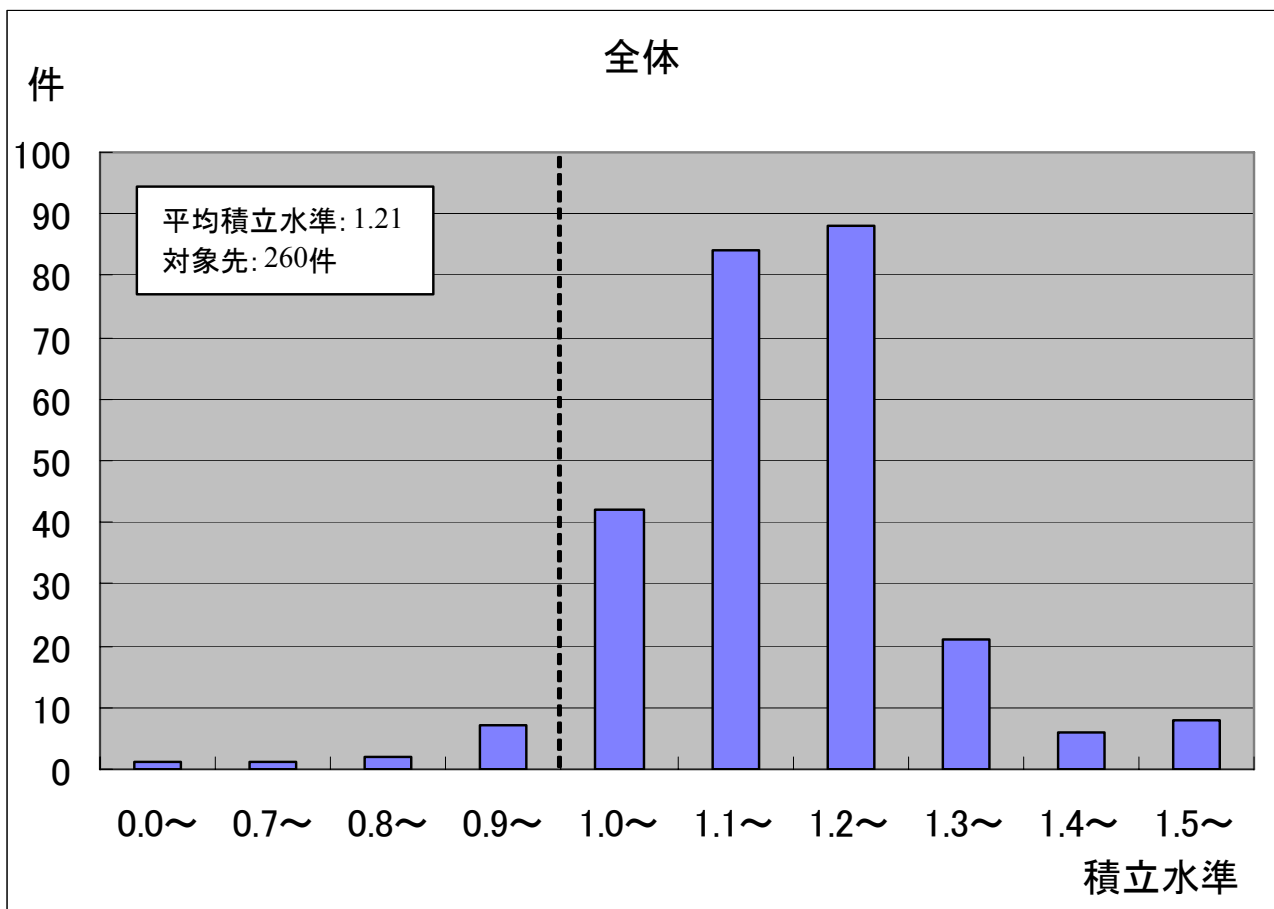
- ・平成21年度の運用回復により全体の積立状況が改善。
- ・69%(前年度25%)のDB年金が継続基準および非継続基準を満たしました。

✓ 全DB年金の分布とは傾向が異なり得る点についてご留意下さい。

### 今回ご案内のデータ(次頁以降)

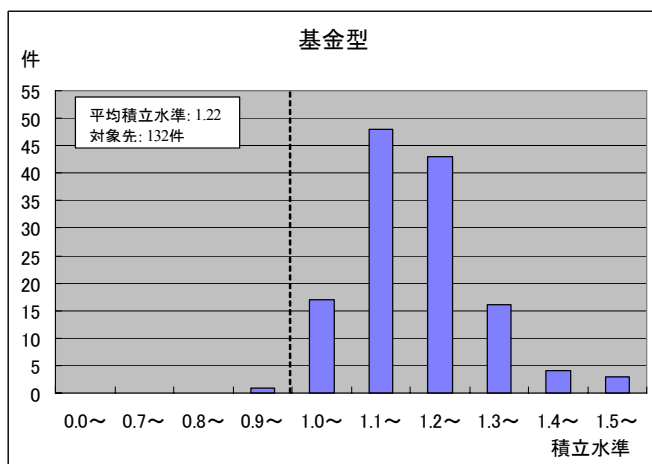
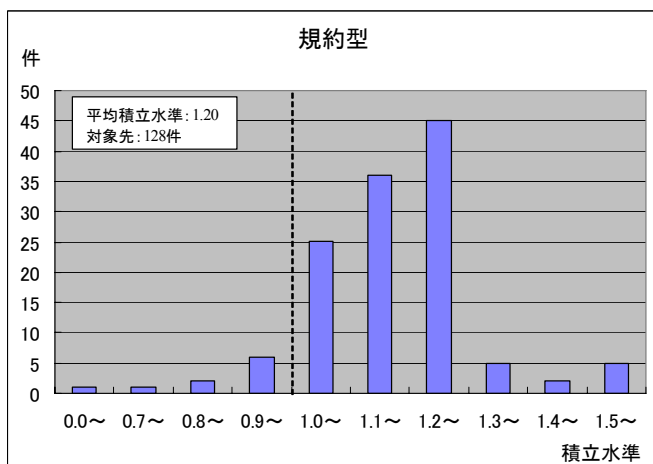
・ 継続基準の積立水準分布(①)	…2 / 5頁
・ 非継続基準の積立水準分布(②)	…3 / 5頁
・ 数理上資産額／責任準備金額(③)	…4 / 5頁
・ 継続基準の予定利率(④)	…4 / 5頁
・ 非継続基準の予定利率(⑤)	…5 / 5頁
・ 積立水準状況分布表(⑥)	…5 / 5頁
・ 許容繰越不足金の定義(⑦)	…5 / 5頁
・ 資産評価方法(⑧)	…5 / 5頁

# ① 継続基準の積立水準分布

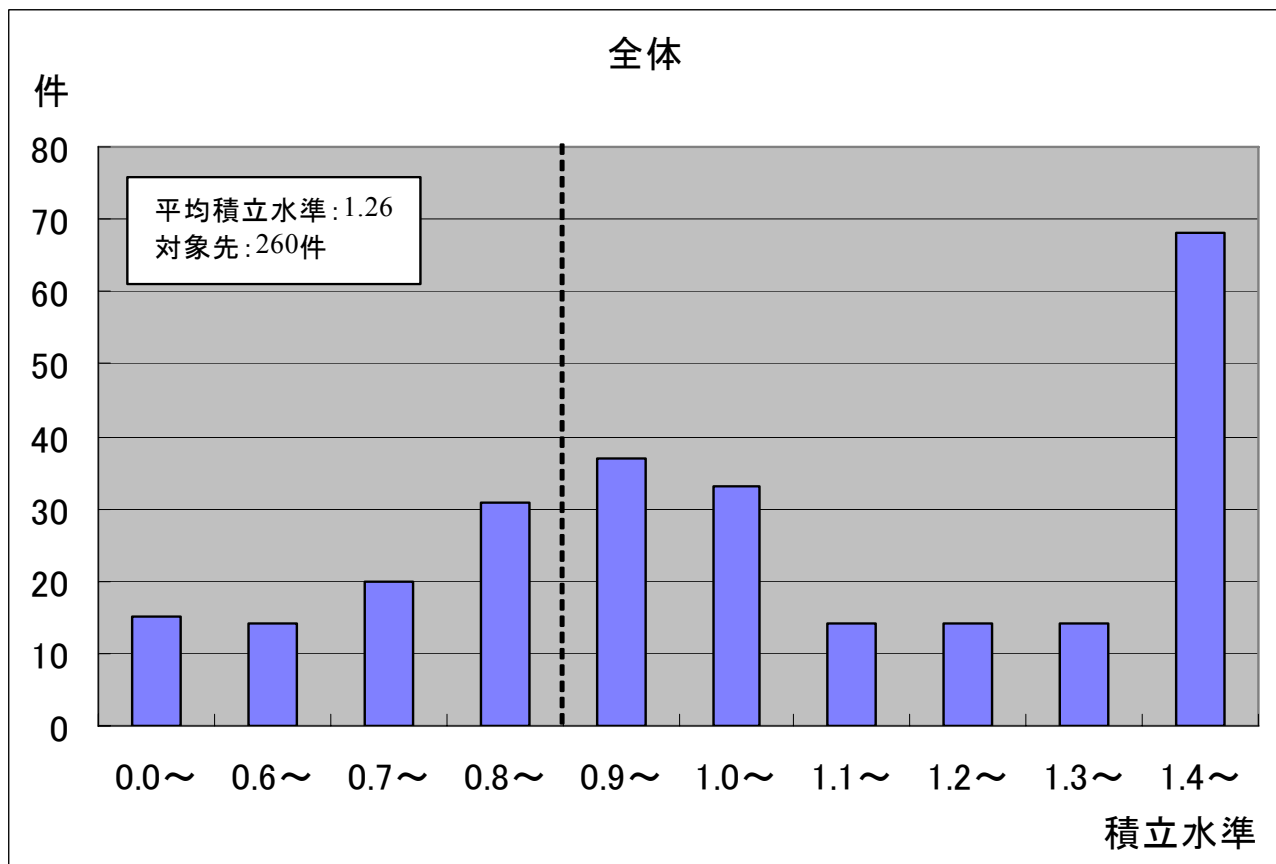


継続基準の積立水準 = (数理上資産額 + 許容繰越不足金) ÷ 責任準備金

・1.0未満の場合は責任準備金確保のための掛金計算の実施が必要

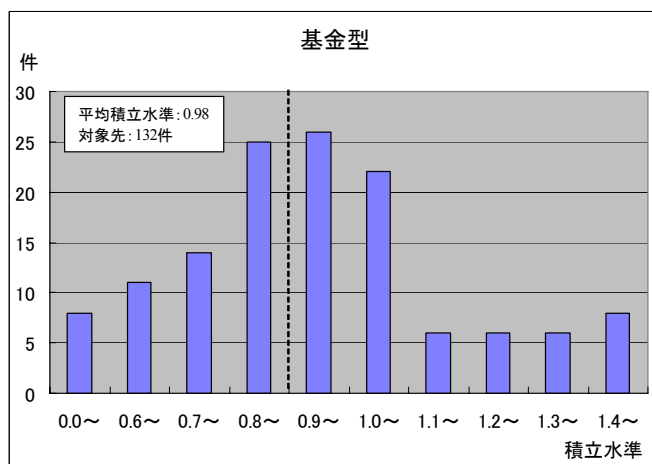
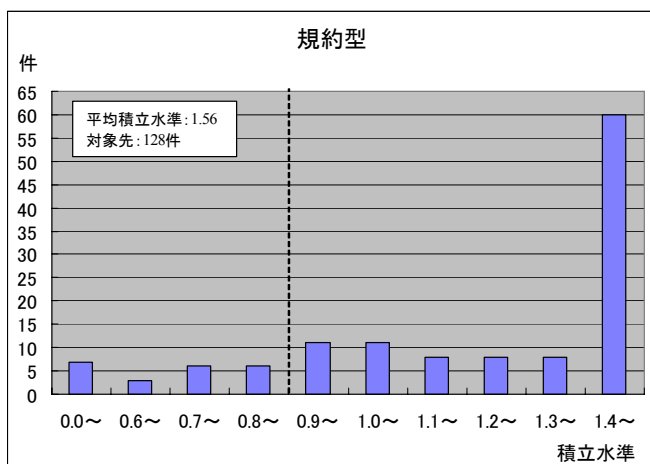


## ②非継続基準の積立水準分布

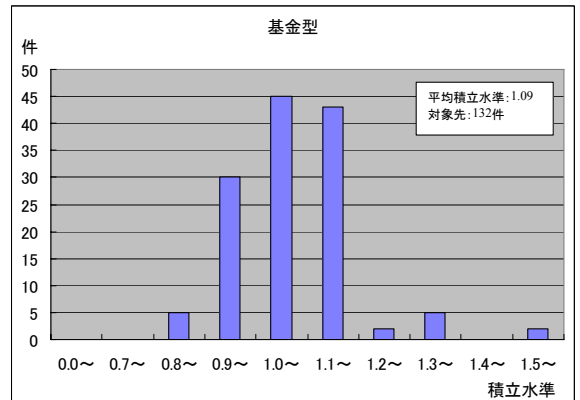
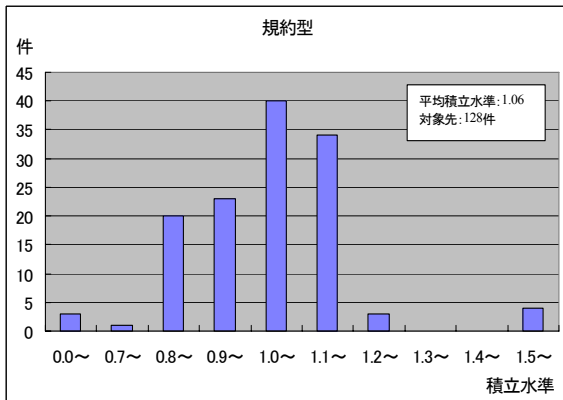
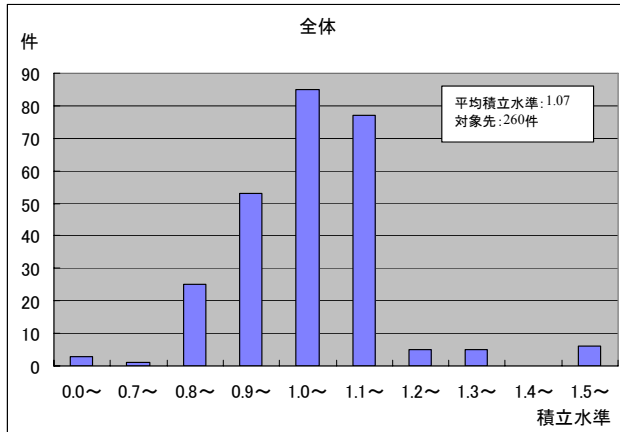


非継続基準の積立水準＝純資産額÷最低積立基準額(未認識額を除く)

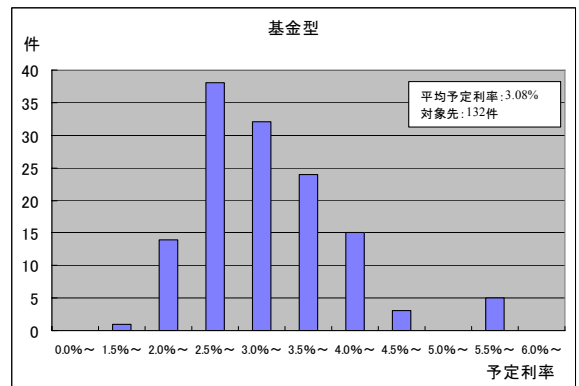
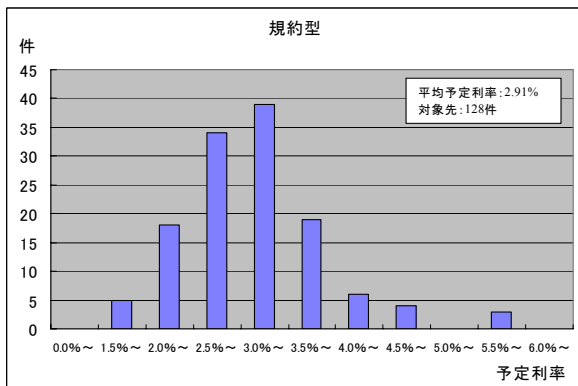
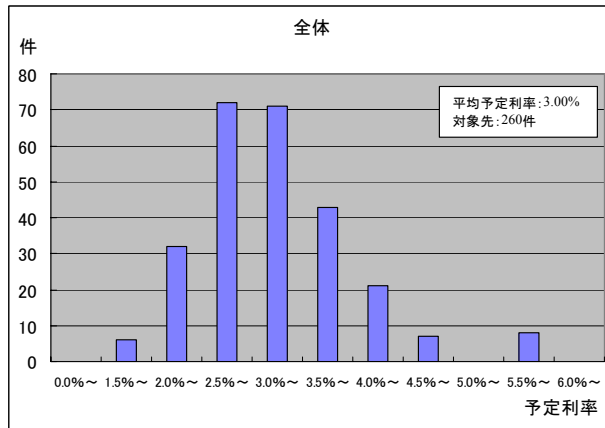
- ・0.9(平成24年4月1日以降は1.0)未満の場合は抵触。
- ・ただし、0.8(同0.9)以上であって、当該事業年度の前年度以前の3事業年度のうち少なくとも2事業年度において0.9(同1.0)以上である場合は抵触しない。
- ・抵触した場合は、「積立金の積立てに必要となる額」を拠出する必要がある。(現行掛金が当該掛金を上回る場合は追加拠出の必要はない)



### ③ 数理上資産額／責任準備金額



### ④ 継続基準の予定利率



## ⑤ 非継続基準の予定利率

	2.44%	2.928%	その他	合計
基金型	85	46	1	132
規約型	119	7	2	128
合計	204	53	3	260

## ⑥ 積立水準状況分布表

全体

件数(割合)

非継続基準	継続基準	充足	抵触	合計
	充足	180 (69.2%)	10 (3.8%)	190 (73.1%)
抵触	69 (26.5%)	1 (0.4%)	70 (26.9%)	
合計	249 (95.8%)	11 (4.2%)	260 (100.0%)	

規約型

件数(割合)

非継続基準	継続基準	充足	抵触	合計
	充足	100 (78.1%)	9 (7.0%)	109 (85.2%)
抵触	18 (14.1%)	1 (0.8%)	19 (14.8%)	
合計	118 (92.2%)	10 (7.8%)	128 (100.0%)	

基金型

件数(割合)

非継続基準	継続基準	充足	抵触	合計
	充足	80 (60.6%)	1 (0.8%)	81 (61.4%)
抵触	51 (38.6%)	0 (0.0%)	51 (38.6%)	
合計	131 (99.2%)	1 (0.8%)	132 (100.0%)	

## ⑦ 許容繰越不足金の定義

件数

	A	B	C	合計
基金型	52	80	0	132
規約型	33	94	1	128
合計	85	174	1	260

A: 標準掛金収入現価に一定率を乗じる方法  
 B: 責任準備金に一定率を乗じる方法  
 C: 「A」または「B」のいずれか低い額とする方法

## ⑧ 資産評価方法

時価	255
時価移動平均	0
収益差平滑化	5
評価損益平滑化	0
時価移動(低価法)	0
収益差(低価法)	0
評価損益(低価法)	0
合計	260

以上